

ACTION REPORT

党青年委員長として、大臣政務官として、そして何より皆さまの代表として、東奔西走した本年上半期を写真で振り返ります。



地球観測衛星 ASHARU-2 はデータビジネス創出の大きな可能性を秘める。打ち上げ後は幻想的なロケット雲が (1月)



予算委員会において、同僚の矢倉かつお議員の質問に政務官として答弁(3月)



豪州キャッシュ雇用・イノベーション大臣と、日豪イノベーション協力について意見交換 (4月)



地域の特性を活かした、地方自治体による中小企業支援拠点が広がる。写真は木更津市に開設した産業・創業支援センター (通称 らづ-Biz) (4月)



アゼルバイジャンのマフマドフ首相とは、今後のエネルギー分野における両国の協力関係を確認 (5月)



外環道 (三郷南IC ~ 高谷 JCT) がついに開通。北関東圏の相互アクセスが便利に (6月)



平成30年7月豪雨被災者救援のために、ボランティアの方々と街頭に立つ (7月)



豪雨被害の甚大だった愛媛、岡山、広島県知事から中小企業支援に関する要望を受け、同日夕刻にグループ補助金の創設を含む広範な支援策を発表 (8月)

HIRAKI DAISAKU NEWS

参議院議員

発行日：2018年9月
発行元：公明党参議院比例区第3総支部 千葉県船橋市湊町1-7-4 B号室

平木だいさく

2018年秋号

2019年 参院2期目に挑戦。

早いもので、皆様に国政に送って頂いてから5年が経過を致しました。この間、党においては青年委員長の任を拝し、また政府においては、経済産業省、内閣府、復興庁の大臣政務官という重責を担うこととなり、文字通り東奔西走の日々を過ごしています。

議員としての任期もいよいよ1年を切る中、明年7月に予定される参議院通常選挙の比例区予定候補として公認が決まり、2期目に挑戦させて頂くこととなりました。比例区の得票は党勢をはかる上での重要なバロメーター。これより1年間、必勝を期す7選挙区の完勝とともに、党勢拡大の先頭に立って走り抜く決意です。

因みに、明年は亥年。猪突猛進といきたいところですが、実は亥年は、12年に1度、統一地方選と参院選を同時に迎えることから、選挙が立て込み、厳しい年として知られます。

前回の2007年を振り返れば、統一地方選は公明党として全国完勝を果たすことができたものの、続く参院選では、埼玉、神奈川、愛知の3選挙区で苦杯をなめるなど、厳しい結果に終わりました。

こうした困難な状況が想定される中で、明年はあえて、愛知、兵庫、福岡の3選挙区に新人を擁立し、議席増に挑戦します。もとより厳しい戦いは覚悟の上。ピンチをチャンスに変えるべく、青年らしく、力の限り戦ってまいります。

公明党参議院議員
平木大作



HIRAKI DAISAKU NEWS

PROFILE 1974年(昭和49年)10月16日、長野県生まれ。創価高校、東京大学法学部卒。IESEビジネススクール経営学修士(MBA)。米シティバンクを経て、戦略系コンサルティング会社等で海外市場戦略の策定などに従事。2013年参議院通常選挙で初当選。2017年8月、経済産業大臣政務官、兼内閣府大臣政務官、兼復興大臣政務官に就任。公明党青年委員長、同国際局次長、同広報局次長、同NPO局次長。